



兵庫県議会議員

石井ひでたけ



石井ひでたけ県政報告

Vol.115

2025年深秋号

発行元 石井ひでたけ事務所

日々の活動は
ブログを
ご覧ください

みるみる通信

~第3ステージはじまる~
まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球9月定例会10月2日の
本会議で討論に立ちました

兵庫県議会インターネット配信で既に1万回以上、視聴されていますので、是非、上記のQRコードからご覧ください

大阪・関西万博が184日間の会期を終え閉幕しました。分断・対立の嵐が吹く世の中に、世界は一つ、多文化共生の意義を共有した事が大きな成果だと思います。テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を具体に示すとともに各パビリオンでの体験、スタッフの努力、来場者の笑顔が感動につながり、SNSや様々な媒体の報道等だけでなく、口コミによって「行ってみたい思い」が広がっていったからでしょう。未だ混迷が続く兵庫県政においても、明確な将来のデザインを示し、県民の笑顔、感動につながる政策を具体化し、突き進めなければなりません。それこそが私たちの使命です。

9月18日から10月22日までの35日間にわたり開催された第372回9月定例県議会では10月2日、

令和7年度関係議案の表決を前に第93号議案「青野運動公苑用地等の処分」について賛成の立場で討論いたしました。同公苑は県が多額の投資を行い加西市に整備しました。メイン施設のゴルフ場はイノシシに荒らされて、さんざんたる状態でしたが、県企業庁と民間事業者が連携して様々な努力を重ね、今ではスポーツ、レクリエーションの場として多くの県民に愛され、黒字経営を続けています。その公苑を民間事業者へ売却する議案です。民間活力を最大限に導入、活用した運営を目指すことは、施設の有効活用や民間利便性の更なる向上が期待できるという点において賛同ましたが、現下の厳しい県の財政状況を考えると売却額が県の投資額にはるかに及ばないことが非常に残念です。このため討論の中で、知事に対して「過去の債務処理に投じた財源負担の是正がかなわない今回の処分に至った轍を踏まえ、今後の県政運営に当たっては、そのトップとしての重責のもと、県民や議会により丁寧に理解を求め、慎重に対処していただくこと」を要望しました。さらに「企業庁により再生された青野運動公苑は、まさに官民連携の好事例であり、当時の職員の経験や苦労を引き継ぎ、成果をつなぐことが、今後、様々な事業展開で、官民連携を掲げる齋藤県政の飛躍に必要」と訴えました。

これからも地域整備事業や分収造林事業、若者・Z世代応援パッケージなど各種ハード・ソフト事業で、絶えずブラッシュアップを行うとともに、その際に、こうした官民連携の成果を生かしていくことを求めてまいります。そして、県民の声、その先に見える「命」と真正面から向き合い、将来への夢や希望につなげていくため、全力投球してまいります。

令和8年度県当初予算に対する重要政策提言並びに予算申し入れ

地球温暖化や人口減少、長引く物価高騰に加え、SNS等による誹謗中傷、偽情報も飛び交っています。不安感が漂う今だからこそ、政策議論をしっかり行い、県民に県政が前に進んでいることを実感してもらい、日々の対話を通じて共感を広げることが重要です。

そのような思いを込めて来年度予算編成に対して9月5日に重要政策提言、11月7日に予算申し入れを行いました。

①街創 ②連携 ③元気 ④調和 ⑤備え ⑥改革 の6つの観点から、オール兵庫、チーム兵庫の団結による「飛躍ひょうご」を期した政策を54の柱で121項目にまとめ、来年度予算への反映を強く要望しました。

令和8年度予算編成に向けた申し入れを服部副知事に行いました。
左記のQRコードからご覧ください

第372回9月定例県議会報告（9月18日～10月22日）

○議決案件

- 令和7年度補正予算（第2号）：生活の安心確保へ緊急対策
- 令和6年度一般会計歳入歳出等決算
- 兵庫県税条例の一部を改正する条例
- 青野運動公苑用地等の処分

など計47件



○同意人事

- 教育委員会委員の任命、人事委員会委員の選任

計2件

○意見書

- 私立学校助成に係る国庫補助制度の堅持及び一層の充実
- 再生資源物の屋外保管場に係る違法行為への対策強化
- 犯罪防止策の強化
- 消防団の家族顕彰制度の創設

など計8件

名古屋市と岐阜県を視察調査（7月9日）
障害者総合トレーニングセンター（仮称）整備めざして

西区にある県立総合リハビリテーションセンターの敷地内で検討されていた障害者総合トレーニングセンターの参考にするために名古屋市の総合リハビリテーションセンター・福祉スポーツセンターと岐阜県のアリーナ（体育館）機能を備えた施設を調査しました。（現地を調査することによってさらにイメージをふくらませ、担当部局と連携しながら取り組んでいます）

岐阜県福祉友愛プール
トレーニング室北海道を視察調査（9月1日～9月3日）
歴史的建造物の活用、農業、観光振興のあり方探る

新県庁舎の整備とあわせて検討される県議会議場の参考にするため北海道議会を視察。北海道の特色を生かした議会棟や馬蹄形の議場等ゆとりのある空間作りなど参考になりました。その後、7月に改修工事を終えてリニューアルオープンした旧赤煉瓦庁舎を見学（兵庫県公館のあり方にについて政策提言を行いました）。続いて、ホクレン本部で米のブランド戦略などについてヒアリングを行い、翌日、ホクレン長沼研究農場で現地調査。オーバーツーリズムなどで話題になっているニセコ町へ移動し、観光施策、地域活性化策などについて調査しました。



農政環境常任委員会活動報告

閉会中の継続調査事件として7月16日に「地球温暖化対策及び環境学習・教育の総合的推進」、8月18日に「農業生産基盤及び農村環境の整備・保全」、9月16日に「農業の担い手育成、農地有効活用及び水田農業の推進」、10月23日に「農業改良普及事業及び環境と調和した農業の推進」「畜産業の振興」についてをテーマに開催されました。

※今年度の農政環境常任委員会の特定テーマは「森林の多面的機能の持続的な発揮に向けた『改革』」で、これを踏まえて管内・管外調査を行っています。

管内調査:7月29日～7月31日 丹波・但馬

- 岩津ねぎ圃場(朝来市):若手農家グループが栽培。
- ひょうご農林機構(和田山庁舎):分収林契約相手の代表者等との意見交換を通して森林の持つ機能の重要性や林業従事者の育成が喫緊の課題であると再確認。
- 朝倉さんしょ栽培現場(養父市):世界ブランド化を目指して取り組んでいます。生産拡大から販路拡大、販売PRも。
- 木質バイオマスセンター(香美町):森林整備により発生する未利用間伐材を木質バイオマス発電用燃料等として有効活用するためのチップを加工。
- 大区画ほ場と県内初の自然圧パイプラインの整備現場(温泉町):農地集積について営農組合の役員の方々に説明を受け質疑応答。
- 野生動物共生林の取組状況(出石町):獣害防止柵の整備と一体的に人と野生動物との棲み分けゾーンの設置を行っています。
- 但馬県民局:管内状況を説明してもらってから質疑応答。
- ひょうたん農場株式会社(丹波市):土地利用型作物と畜産の複合経営。循環型農業を実践。
- 丹波県民局:管内状況を説明してもらってから質疑応答。
- 株式会社アグリヘルシーフーム(丹波篠山市):「土を造り、食を作り、未来を創る」を理念とした環境に配慮した生産を実践。



管内調査:9月10日～9月11日 東播磨・淡路

- アクリア東条(加東市):東条川疏水を地域資源として守り、次世代への継承を目指す「東条川疏水ネットワーク博物館」の活動状況などについて説明を受けて現地視察を行いました。
- 北播磨県民局:管内状況を説明してもらってから質疑応答。
- エコクリーンピアはりま(高砂市):東播磨管内の2市2町で発生したゴミを処理しています。
- 東播磨県民局:管内状況を説明してもらってから質疑応答。
- 農林水産技術総合センター水産技術センター(明石市):水産資源の持続的利用と安全安心な水産物の安定供給を図るため、科学的調査研究と技術開発を実施。
- 池上農場(淡路市):建設業界から農業参入し、たまねぎ約10haを作付け。淡路島から世界品質のたまねぎ輸出を目指しています。
- 淡路県民局:管内状況を説明してもらってから質疑応答。



管外調査:10月29日～10月31日 青森県・岩手県



- 青森県議会(青森市):分収造林事業についての説明を受け質疑応答。
- ファーストプライウッド株式会社(六戸町):青森県産スギ材を主原料に住宅の構造材や造作材として使用される高品質なLVLを製造、販売。
- 八戸水産会館(八戸市):産学官連携による陸上養殖事業の取組について説明を受けてから現地視察。
- 株式会社八幡平スマートファーム(岩手県八幡平市):地熱による暖房とIoT制御による環境管理を組み合わせたスマートファームプロジェクトを展開。CO₂フリーの「温泉バジル」などの栽培を通じて、脱炭素社会の実現にも貢献しています。
- 高松第三行政区ふるさと地域協議会(花巻市):遊休農地を活用した福祉農園を運営し、地域資源の活用と住民の協働による持続可能な地域づくりを進めています。
- 農事組合法人みずほ(花巻市):化学肥料、農薬を使用しない特別栽培米「みずほ米」を生産。地域資源を活かした効率的な農業経営を進めています。

編集後記

みるみる通信115号を作成するにあたり、記録的な猛暑にあったこの夏を振り返ってみましたが、暑さに負けず全国各地をとび回っていました(その一部を今号で掲載しています)。常任委員会の管内・管外調査に加え、議員個人の政務調査活動として現場を訪問し、多くの方と出会い、話を聞き、取り組みを拝見し、体験もさせていただきました。対応していただいた方々、スケジュールを組んでいただいた職員、関係者の方々に心より感謝しています。「それぞれの地域で熱い思いをもって活躍されるリーダーの存在。人ととの出会い、そして絆が何よりの財産」と改めて痛感いたしました。視察調査の成果は、令和8年度当初予算編成に対する重要政策提言(9月)や予算申し入れ(11月)に反映することができました。これからも現場主義にさらに徹して全国各地の先進事例を参考に県内各地域の活性化に繋げていけるように、「県政のランナー」として身をもって実践していきます。今後とものご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

石井ひでたけ プロフィール

昭和41年4月15日生まれ(B型)
西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学(現兵庫県立大学)卒、サラリーマン生活を経て、阪神淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選(以降6期連続当選)
50歳を機に議会の活動を第2ステージとし、特定の政党に属さず精力的に活動中。
昨年4月より第3ステージと位置づけ孤軍奮闘中!歩きお遍路 結願(2025年10月15日)

(現 在) 兵庫県議会議員(6期)
公益財団法人兵庫県スポーツ協会 評議員
兵庫県自転車競技連盟 会長 他
(主な経歴) 関西広域連合議会 議員(2期)
兵庫県監査委員
兵庫県議会運営委員会 副委員長
予算特別委員会 副委員長
兵庫県産業労働常任委員会 委員長
兵庫県農政環境常任委員会 委員長
議員団 団長 他 要職を歴任
(趣味) ドライブ、自転車、登山(日本100名山踏破) 他



9月8日、大阪・関西万博を訪問。大勢の来場者に揉まれながら大屋根リングを一周し、万博の雰囲気も味わいました

石井ひでたけ 事務所

伊川谷事務所

〒651-2113 神戸市西区伊川谷町に瀬537-3

TEL 078-978-0667

FAX 078-978-0668

玉津事務所

〒651-2133 神戸市西区枝吉1-215

E-mail:ishihidetake@gmail.com

WEB:https://ishihidetake.info



月曜 県政相談会

毎週月曜日の10時から12時まで
伊川谷事務所にて

「県政相談会」を開催しています。
どんどんご意見・ご要望をお寄せください。

伊川谷事務所 地図

